

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	水道部業務課	直通電話	72-3224	事業コード	601030107	課内	7	作成日	平成15年8月15日
		担当者	岡 俊宏	担当課長	伊藤 高行	担当部長	後藤 敏仁		

1 事業のアウトライン

1)	事業名	水道事業PR・情報提供事務	開始年度	S48	終了年度	未定								
			最近の事業内容見直し年度											
2)	総開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>6010301</td> <td>市民参加システムの確立 / 広報活動の充実</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	6010301	市民参加システムの確立 / 広報活動の充実				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目													
6010301	市民参加システムの確立 / 広報活動の充実													
3)	個別計画での位置付け													

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	水の大切さや浄水場の仕組みについて、市民によく理解してもらう。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市民が、水道事業についての正しい知識を持つようにする。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<p>水道週間に、水の大切さや浄水場の仕組みを理解してもらうため施設見学会を行い、同時に次のような事業PRを行った。</p> <p>チラシ配付(水道部作成広報ビデオのPR掲載)・公用車での街頭啓発・懸垂幕の取付(水を大切にしよう)</p> <p>また、広報紙に凍結注意の情報提供を行った。 広報「いしかり」(12月号)に水道凍結注意の折込チラシ</p>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	水道週間は、毎年6月1日～6月7日と定められおり、この期間に全国の水道事業者が連携して各種PR活動を行っている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	なし
7) 評価中間公表への市民意見	事業の成果を示す指標としての市民アンケートは任意のため、評価になじまないため別な方法を検討すべきだ。また、総合評価は「D」ではないか。

3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	266	362	397	482	水道週間広告料(新聞掲載)	20
2) その他の間接経費(千円)					水道週間グッズ(期間内67 期間外121)	188
3) 従事正職員の人件費(千円)	1,315	1,327	1,318		広報折込チラシ等(凍結防止)	189
総事業費(1～3の合計;千円)	1,581	1,689	1,715		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)					水道料金等	1,715
市民一人当たり一般財源使用額(円)						
事務に従事した正職員のべ人数	0.16人	0.16人	0.16人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
花川南浄水場来場者数(人)	目標値	600	600	600	目標値は、過去の来場者数の推計から設定した。 小学生500人 + 一般100人 計600人
	実績値	403	488	497	
	達成率	67.2%	81.3%	82.8%	
水道週間PRチラシ配布枚数(枚)	目標値	480	480	480	商店街で行った水道週間のPRチラシの配布枚数 H14は職員6名で配布 目標値は、職員1名あたり80枚と設定した。
	実績値	300	360	360	
	達成率	62.5%	75.0%	75.0%	
公用車街頭啓発日数(日)	目標値	2	2	2	スピーカー付の公用車2台による、市内街頭啓発の日数 目標値は、水道週間内の土日の2日間と設定した。
	実績値	2	2	2	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

5 事業の成果

事業名: 水道事業PR・情報提供事務

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
市民アンケート有効回答数(票)	目標値	50	50	50	50	花川南浄水場来場者に対するアンケート調査の有効回答数。 目標値は、小学生500人を除く一般の来場者100人*5割=50人と設定した。	アンケートによる
	実績値	7	19	19	目標レベル		
	達成率	14.0%	38.0%	38.0%	-		
	最終目標	年度に					
凍結修理件数(件)	目標値	30	30	30	30	冬期間に指定業者が修理を行った件数 なお、平成12年度の数値は急激な気温減少(最低気温-23.1度)により急増している。 目標値は、凍結修理30件と設定し、達成率は低いほど良い。	指定業者に聞き取り調査による
	実績値	687	31	77	目標レベル		
	達成率	2290.0%	103.3%	256.7%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	施設見学者数や水道週間における街頭PR等の事業活動の結果が、前年度とほぼ同程度であることから、この事業の実施については、検討が必要であると判断した。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	事業PRや情報提供の必要性は、事業の目的からも高いと判断するが、その有効性は、事業の成果が示すように疑問が残ると判断した。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	事業経営は、地方自治体の経営が基本であるため、市の関与の必要性があると判断した。しかしながら、PR方法の工夫や民間活力の導入など検討が必要であると認識している。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	現在の事業内容については、その成果や費用対効果を検証する等の見直しが必要である。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味]	[課長評価]	C	[最終評価]	D	(前年度)
A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	具体的な成果を把握しづらい事業であり、事業活動の状況や内容の妥当性が、一定のレベルに達しているとは言いきれないが、水道事業運営に当って、事業目的の必要性が高い。		事業目的の必要性が高い事業であるが、その有効性や事業活動の方法等に疑問を残しており、その手法を含め再検討の必要がある。		

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	市民に水道事業を理解してもらうことは、事業運営上からも重要なことであることから、本事業内容を充実して実施することや、市からの情報提供についても、ホームページや広報誌等を活用した広報活動のあり方を検討するなど、市民から信頼される水道事業を目指すことが重要である。
最終評価	水道事業のPRについては、需要者の立場に立った説明、意見の把握そして水道事業への反映を行う事が、より質の高いサービスを提供する上で重要なものと考えている。当該事業の必要性は、その目的からも極めて高いと判断するが、事業活動の創意工夫を行い内容を充実させることが、課題でもあり且つ今後の進むべき方向であると認識している。

9 平成16年度の方向性

*	担当課長 最終評価	事業内容		
		現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向			
	現状維持		*	
	縮小方向			
	統 合			
	休・廃止			
上についでの説明	街頭啓発の方法を再検討するほか、アンケート調査の方法・内容を充実させる。			